

倒産集計**信用交換所京都本社**

09年3月繊維倒産

倒産件数は増加、小売業者の破たん目立つ

全 国 発生件数 = 59件 負債額 = 401億4200万円

2009年(平成21年)3月の全国繊維業者の倒産(負債額1000万円以上=整理・内整理含む)は59件で、前月比で13件(28.3%)、前年同月比で16件(37.2%)増加した。

負債額は401億4200万円で、前月比で198億6800万円(33.1%)減少し、前年同月比では268億5800万円(202.2%)増加した。

前月は小杉産業(株)、トミヤアパレル(株)といった上場企業に加え、以前から動向が注目されていた(株)もくもくが破たんするなど波乱の月となった。当月は上場企業の破たんこそなかったが、通信販売と出版事業の2本柱で知名度のあったユーリーグ(株)(東京都新宿区、負債額96億円)や多くのライセンスブランドを有した泰道リビング(株)(東京都中央区、寝具・タオル製品ほか卸、同84億7000万円)が破たんしたほか、(株)ミスモ加工(岡山県倉敷市、不織布製品加工、同33億円)、和光繊維工業(株)(大阪府泉大津市、紡毛紡績、同19億8000万円)、三星商事(株)(大阪市、ユニホーム製造、同17億7800万円)、(株)ヌーメロウノ(東京都渋谷区、かばん・袋物小売、同17億円)など負債額が10億円を超える大型倒産が10件発生したことに加え、比較的小規模な倒産が散発したため、倒産件数は増加した。

雇用情勢の厳しさや所得の不安などから消費者の生活防衛意識は一層高まり、百貨店やスーパー等の売り上げが前年割れを続けるなど、繊維業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にある。リストラや支払い条件の変更などで経営を維持せざるを得ない現況下、「緊急保証制度」を利用して最悪の事態を回避している先も一部であると見られるが、依然として中小零細業者の資金繰り難は解消されていない。

この年度末を乗り切った先においても、今後の動向に極めて強い関心が寄せられている企業が散見されることから、今春以降の商況如何では倒産がさらに増加する恐れがある。

業種別では「小売商」24件、「紳士・婦人・子供・被服製造卸」10件、「その他」5件、「呉服・和装製品製造卸」「ニット製品・洋品雑貨製造卸」各4件、「織物卸」「寝具・インテリア製品製造卸」各3件、「染色整理・特殊加工」「織物製造」各2件、「紡績・撚糸製造」「繊維総合卸」各1件。

原因別では「業績ギリ貧」が47件で全体の79.7%を占め、以下は「業況急変」5件、「放漫経営」3件、「貸し倒れ損失」2件、「資金力薄弱」「信用度薄弱」各1件だった。

京 都 発生件数 = 4件(前年同月1件) 負債額 = 2億4000万円
(前年同月3200万円)滋 賀 発生件数 = 2件(前年同月1件) 負債額 = 1億円
(前年同月7400万円)